

し進めるために、第三回中央委員会はその方針を討議し、實行の機を待ちつゝある。

### (三) 失業反對闘争

軍事インフレにより産業の一部が活気を呈し失業者の小部分を就職せしめたが尙大多數の失業者は物價騰貴のため従来よりも悲惨な状態に於かれてゐる。全國労働は失反對闘争を最も重要視して全国的に闘争を指令して闘争したが、東京、大阪、神戸等に於いては最もよくこの闘争を戦ひ、本部に於いては社會大衆黨協力して社會局案「日傭勞力者失業共済施設」を支持し、即時實施を要請し、これに反對せる關東産業聯合會に對しては、東京地方白山労働者組合と協力して抗議運動をやつた。

### (四) メーデー闘争

本年度メーデーは反動の極度の重壓の下に行はれた。メーデー前には反動團體の「メーデー撲滅！」のスロガンで市街をうづめ、「愛國メーデー」を行つて階級的メーデーに對立させたが戰闘的労働者は断乎として全國にメーデーを戦ひ抜いた。

全國労働の動員数は七、三三三名であるが、東京は従來の野次と泥投げを清算、全國労働、總同盟、瓦斯産業、東電、官

△東京労働會	一五〇
△神戸聯合會	六八〇
△和歌山統一會	九七
△阪神聯合會	一五〇
△函館地協	四〇三
△大谷石村	七〇
△播州化學	二八〇
以上合計	七、三三三

第一回中央委員会は、大會決定の社會立法、労働立法及び暴壓諸法令撤廢の闘争を積極的に展開するために、社會立法對策委員會を設置したが、同委員會は、失業保險法、労働組合法、健康保險法改正災害扶助法の適用範圍擴大、其他大會決定諸立法の制定促進の闘争を、日本労働組合會議及社會大衆黨と協力して目的實現に努力した。

尙、決定案文は本報告末尾に掲載した。

### (六) 其他

#### (イ) ファツショ粉砕闘争

滿洲戦争以來擡頭せるファツショ的傾向は本年度に入つては日本の聯盟脱退及、國際經濟會議決裂等によつてその濃度を倍加した。我等は之の中にあつてあらゆる機会をとりへて

業労働、海員組合、海友同志會、製糖工労働、農民總同盟等聲明書を發して統一ある強力メーデーを敢行した。これに反對せるアナ系及、全國統一、東京市從、東交、總評等は別個にメーデーを行つた。

#### 全國労働メーデー動員數

△東京聯合會	一、五〇七
關東金庫	二〇〇
木村産業	一六五
東京乘合	七八
日本運交	二〇〇
關東革技	一三〇
自由労働	二八五
關東化學	二九二
全國映畫	六七
日本紡織	一〇〇
大阪聯合會	四、〇一五
大阪金庫	二、七一九
大阪都從	四二〇
大阪運交	一八四
大阪電氣	一七〇
大阪化學	五〇
日本紡織	三八二
日本機械	九〇

ファツショの本質を暴露し、闘争した。全國労働内部に於いては本年度はその發生の餘地なき迄に強力な階級的保壁たらしめた。只關東方面に小松原光太郎君の脱落を見たのみである。

#### (ロ) 戦争防止闘争

一、「戦争の危機」は従來しばしば唱へられたが本年度はそれが現實の問題となつて現はれた。滿洲戦争は國際聯盟の舞臺に移つて、日本は各帝國主義國家と對立し遂に「經濟封鎖恐るゝに足らず」として聯盟より脱退し戦争の危機迫るや我々は戦争防止のために起ち社會大衆黨、組合會議と協力して脱退反對の決議文並に聲明書を發表し同時に齋藤首相、内田外相山本内相等に提出した。(聲明書及び決議は省略)

二、日ソ戦争の危機に對しては、「日ソ不可侵條約締結促進」を危機防止の武器として取上げ、演說會、機關紙等によつて或は大會議案となして社會的輿論に訴へ、研究會、講習會等に於いては、組合員に運動の徹底のために努力した。